

要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業

【事業の概要】

- ・人工呼吸器など、日常的に電源を要する医療機器を使用する重度障がい児者にとって電源の喪失は生命の危機に直結するため、長期停電を想定した備えが必要。
- ・このため、市町村に対し重度障がい児者等の把握及び災害時支援等体制に係る調査の実施、ネットワーク会議にて医療機関、消防、電力会社、医療機器メーカー、行政等による支援体制の協議により、関係機関における災害時に有効な支援体制の整備を促進する。

★R2年度実施内容

- 在宅重度障がい児者の家庭における自助力向上のための災害対策ガイドブックの内容検討
- 市町村における在宅重度障がい児者等の把握及び災害時支援等体制に係る状況調査の実施
- 在宅重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議等の開催

重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議のイメージ

